

# 市議会だより さつて



清涼感あふれる権現堂公園のアナベル(紫陽花)とヒルガオの共演 

## 6月定例会のおもなことから

- ・令和6年6月定例会議案 …………… 2～5ページ
- ・各常任委員会での審査 …………… 6～7ページ
- ・市政に対する一般質問等 …………… 8～15ページ
- ・議決結果の一覧 …………… 16ページ

No.111  
2024年  
8月

幸手市の魅力や出来事、災害時の情報を発信します。幸手市公式 LINE 登録



## 6月議会報告

**6月定例議会は6月3日から21日までの19日間の日程で開催されました。**

- 議案34号幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…………… 否決
- 専決処分承認を求め件議案4件…………… 承認
- 幸手市一般会計補正予算(第2号)を含む議案7件…………… 可決
- 教育委員会委員の任命 農業委員の任命14件 監査委員の選任…………… 同意
- 意見書案第1号倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書…………… 可決

(議案第39号)  
令和6年度幸手市  
一般会計補正予算  
(第1号)

令和5年11月に閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」への対応として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4億5973万7千円が追加補正されました。

(主な内容)  
・ 定額減税調整給付金  
定額減税の対象でありながら、定額減税しきれないと見込まれる方にその差額分を調整給付金として1万円単位で給付されます。

(議案第62号)  
監査委員の選任に  
ついて

幸手市の監査委員は、2名置くとされており、その内1名は自治体の行政運営に詳しい人、もう一人は議員の中から市長が提案し議会の議決を得て選任されます。

しかし昨年5月の市議会議員の改選から1年以上以上議会選出の監査委員が決まっていない状況でしたが、最終日の追加議案として市長から提案がなされ賛成多数で可決されました。

6月定例議会本会議  
議案質疑及び討論内容

(議案第39号)  
専決処分の承認を求める  
ことについて(専決第7  
号)令和6年度幸手市一  
般  
会計補正予算(第1号)

**質疑**  
定額減税による個人住民税の減少分の補填について伺います。

**答弁**  
今回の補正予算においては、定額減税しきれないと見込まれ

る方に対する給付に係る予算を計上しておりますことから、定額減税による個人住民税の減収分については含まれておりません。  
定額減税による個人住民税の減収分の補填については、全額、国からの地方特例交付金で補填されることとなります。  
歳入の時期については、定額減税による減収分は、地方特例交付金として9月に交付される見込みです。令和6年度予算における市民税については、定額減税分を見込んでいない数値となっており、9月議会において定額減税分を踏まえた市民税の減額と、今申し上げました地方特例交付金の増額を計上した補正予算を編成いたします。

(議案第62号)  
**監査委員の選任について**

**質疑**

監査委員の提案にあたり、議長からの調査依頼に対応はしましたか。

傷害事件の被害者に対して、「あなたはおっと大人になりなさいよ」と、こういうことを言うこと自体問題です。監査委員は、議長に嘘の報告をしたり、パワハラ、モラハラや、長時間職員を拘束したりするということが指摘されています。

**答弁**

基本的には職員の方からそういう報告は上がってきておりませんので、そもそも調査をする対象がないということ、調査はしてございません。

(請願第1号)  
**幸手市立武道館のエアコン設置に関する件**

**賛成討論**

大平 泰二

請願文書にもありましたが、今や夏の時期は非常に高温多湿という中で、命をどう守るかと言

う問題となっています。

エアコン設置問題については、いろんな形で討議する計画が進められているということになっていくわけです。

命に関わる問題の中で、文教厚生常任委員会ではエアコン設置請願に反対という信じられない決議を行いました。

市民の健康と命を守るために皆さんがどう守るかと言う立場を議会として取るならこのような反対と言う立場は取れないのではないかというふうに思います。

ある方が、議会の本会議場のエアコンを全部切って、武道館と同じ状況にして仕事をしてはどうか。議会は市民の命と健康を守る立場からスポーツ文化レクリエーションを、きちつと楽しんでいただく場を保障するべき。と、話していました。エアコンはリースでも、また分割でもできるわけです。

議会が反対した学校給食の無料化問題も、18歳までの医療費の無料化の問題もそうです。市民要望は色分けをしないで、きちつと市民の要求に目を向けていたいただきたいというふうに思います。

この点を指摘し、武道館にエアコンを設置する請願の賛成討論とします。

請願第1号

**幸手市立武道館のエアコン設置に関する件**

請願趣旨

武道館建設当時の1984年7月では最高気温が29度程度であったため、武道の考え方からすれば、暑さも修行の一環と言うこともあったかと存じます。

現在では、室温は上昇の一途を辿りましてスポットクーラーを稼働しても40度を超えてきております。つまり、熱中症による命の危険があるということになります。2024年の夏では、暑さ指数(WBGT)は新設された「35」を超えてしまうものと想定しております。

また、冬場におきましては、温度環境が低い中での運動は怪我が発生しやすいと言われております。温度が低いと身体はどうしても熱を逃がさないように縮めてしまい、これによって関節や筋肉なども動きにくくなってしまいます。関節や筋肉の動きが十分ではない状態ですと、頭の中で描いている動きと実際の体の状態にズレが生じ、力加減や繰り返される強い負荷によって怪我が誘発されることは通説となっております。

- ・利用者の日常環境が大幅に変化してしまった。
- ・指導者が年々高齢化し、身体の負担が大きすぎる。
- ・環境が悪いため、利用者の活用の幅が狭まる。
- ・青少年育成において武道必修化に向けた環境の整備。

請願項目 幸手市立武道館にエアコンを設置してください。

紹介議員 小泉 圭 司

意見書案第1号

### 倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書

一級河川倉松川は現在、埼玉県による改修工事が進められています。水害の危険性の高い幸手市にとって、この事業は地域住民の安全安心な生活に欠かせないものであり、幸手市議会としても積極的に支援協力すべき重要な事業と認識しております。

今後の計画では、国道4号線幸手橋から東武鉄道橋までの区間において川幅を約20mに広げ、兩岸の管理用道路についても4mの幅員とするなど、水害対策だけでなく生活環境の向上にも大きな効果が期待されておりますが、当該区間にかかる「雁橋」と「503号橋」の2か所の橋梁については、幸手市と協議のうえ廃止する方向で進めるとの説明がされています。

廃止の方向性とされたこれらの橋は、古くから地域住民に利用されているもので、特に「雁橋」については日常生活に支障をきたすとの理由から、廃止に反対する市民からの請願が市議会に寄せられております。河川の安全性確保や管理用道路の拡幅による利便性の向上が橋梁廃止の理由とされていますが、令和6年3月に幸手市内で開かれた説明会において方針が示されるまで、事前の協議や説明もなく、地域住民も困惑しています。

このように現状では、事業に対する理解が十分に得られているとは言い難く、今後は、より地域住民に寄り添った事業運営を期待するものです。

つきましては、倉松川改修事業においては、つぎの措置を講ずるよう求めるものです。

- 1 「雁橋」については廃止の方向性を見直し、再度その必要性等を考慮のうえ計画を修正すること
- 2 事業の進捗にあたっては、地域住民の声を可能な限り反映させるとともに、適切に説明を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年6月21日

埼玉県幸手市議会議長 枝久保 喜八郎

提出先 埼玉県知事 大野元裕 様

(請願第2号)  
**「倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書」を埼玉県に提出することを求める件**

**反対討論** 大平 泰二

意見書は、幸手市管理の橋の存続を埼玉県に提出するというものですが、問題となっている橋の所有者は幸手市と聞いています。

したがって、幸手市の管理のもと市が架け替え存続工事をするわけです。議会が取り扱う問題としては、まず、管理者(幸手市)を相手に議会の意思をきちっと伝えるということが大事なことではないかなと考えます。

その意見を調整した上で、埼玉県の方に橋の存続を求めているということですが大事なことでないかと考えます。

私は橋を存続させるっていうことについては反対ではありません。機能保障をして、便利で安全な地域を作っていくっていうことについては、ぜひとも進

めていかなくはならない。ただ話の進め方として、ルールに従って正しく伝えていくということはずごく大事ではないかと。したがって願意について、私は妥当だと思えますけれども、議会側の話の進め方として県提出では話が違うのではないかと考えています。

**(意見書案第1号)**  
**倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書**

**質疑**

東武鉄道から4号線までの間に5本の橋が掛っているがそれぞれの間隔と橋の利用者数また橋の近隣世帯数について。

**答弁**

意見書を提出することが決定したものですから、それに伴って意見書案を出したということであります。したがってそれらの内容については、意見書案とは違うものだなというふうに思います。

**人事案件**

**農業委員会委員**

- |       |       |        |       |        |        |        |        |        |        |        |       |        |        |
|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 伊丹 栄氏 | 石川 広氏 | 倉持 昭夫氏 | 山中 栄氏 | 増田 隆司氏 | 船川 由孝氏 | 眞中 一夫氏 | 松島 政雄氏 | 増山 勝一氏 | 江森 敦夫氏 | 新井 智子氏 | 野川 博氏 | 熊谷 隆夫氏 | 植竹 一寿氏 |
|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|

を任命することに同意しました。

**教育委員会委員**

林 晴実氏

を任命することに同意しました。

**監査委員**

松田 雅代議員

を選任することに同意しました。

**表彰**

全国市議会議長会第100回定期総会において昨年度、評議員を務めた枝久保喜八郎議員に対し感謝状が贈られました。

**6月定例会 会期日程**

- 6月3日(本会議)
  - ・開会・会期の決定
  - ・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月4日・5日・6日(本会議)
  - ・市政に対する一般質問
- 6月12日(本会議)
  - ・議案に対する質疑
  - ・議案の委員会付託
- 6月13日(委員会)
  - ・総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
  - ・文教厚生常任委員会
- 6月17日(委員会)
  - ・建設経済常任委員会
- 6月21日(本会議)
  - ・委員長報告 質疑、討論
  - 採決・閉会

**6月定例会**

**傍聴者**

53人の方が傍聴されました。  
**議会インターネット中継のアクセス件数**  
 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月 93件	5月 87件	6月 2,448件
の方が視聴されました。		

# 総務常任委員会

## 幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（議案第34号）

**問** 参与、副参与を設けることで、上司にあたる課長や主席主幹等が、業務を頼みづらくなったり、遠慮してしまうのではないかと、また、限られた職員数で職務を行わなければならない場合に、新たな役職を設けることで他の職員への業務負担が増えてしまうという懸念はないか。

**答** 役職定年制が導入され、役職定年となった管理監督職は、3級の主査級となるが、管理職を経験した職員については、これまで培ってきた幅広い知識と経験が若手職員へと引き継がれることを期待することから役職名をあえて区別することが、主査と同等の職務を行うことになるので、業務の頼みづらさなどの支障をきたすことは無いものと考えている。

**問** 市民目線で考えると、特別

な役職をつくるわけであるが、管理職だった多彩な経験を生かして、窓口業務を積極的に元部課長クラスがやることによつて、市民サービスに貢献し、他の職員の模範となるような業務をするほうが、市民に対して印象がいいように感じますが、その辺りはいかがか。

**答** 主査という立場、参与、副参与という立場は同じなので、窓口で必要であれば出て、他の職員の見本となるような対応とすることができるのがよろしいと思う。

**問** 令和4年12月議会が必要な改正が行われたときに、全ての検討が済んでいるという認識でいたが、今回改めて条例が出されたのは、何か特段の事由が生じたという考え方でよいのか。

**答** 令和4年度の改正については、制度が国として法律ができるので、それをできるように整えるための条例改正をしたとい

うことで、その後、実際の運用が始まるので、その際に今度は幸手市としてこの制度についてどうやって対応、運用していくかということも、二段階で事務を進めた。最初のほうは法律がそういう法律なので、それに見合うように市の条例を改正する事務を進めたということである。今回は、実際に始まるので、それをどう運用するかということとで再検討、新たな検討を進めて、こういう役職をつけて、少し経験を生かして、さらに頑張ってもらいたいという思いがある。

## 幸手市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例（議案第40号）

**問** 条例の改正によって、マイナンバーカードの利用に際して影響は生じるのか。

**答** 今回の条例改正は、番号利用法の改正に基づくものであつて、マイナンバーカードの利用

に関して、影響はない。  
**問** マイナンバーカードの普及率というのは何%ぐらいになるのか。

**答** 令和6年4月30日時点の申請件数になるが、幸手市においては3万9027件、人口に対する申請件数の割合になると79%ということになる。

## 幸手市税条例の一部を改正する条例（議案第41号）

**問** 個人住民税の寄附金税額控除に関する規定の整備とは、具体的にどのようなものか。

**答** これまでは、認定特定公益信託として、個人の方が信託財産とするために支出した金銭は、税制上の優遇措置により特例で寄附金控除の適用を受けることができたが、公益信託制度の改正によって、独立行政法人などの特定公益増進法人に対する寄附金と同様に、寄附金控除の対象となることで、より活用しやすいものとなる。

文教厚生常任委員会

**幸手市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例**  
(議案第42号)

**問** 指定管理者制度に移行するという考えだが、保護者会や現場職員の意見は伺っているか。

**答** 保護者会にはアンケート調査を通じて、次の意見を伺っている。

保護者会の負担が大きいと感  
じているか、に対して「はい」  
が44%、「いいえ」が17%、「わ  
からない」が37%であり、そ  
他、保護者会による運営を継続  
すべきか、に対しては「継続す  
べき」が16%、「継続すべきで  
ない」は32%。

また現場の職員に対しても2  
回程度意見を聴き取りしている。

**令和6年度幸手市一般会計補正予算(第2号)**  
(議案第45号)

**問** 埼玉県障害者生活支援セン  
ター等補助金の内容と消費税の  
関係について。

**答** 市町村が行っている障害者  
相談支援事業は、障害者総合支  
援法第77条に基づいて行っている  
事業で、社会福祉法上の事業に  
は該当せず、課税扱いとなる。

しかしこれまで全国的に非課  
税と誤認して取り扱っている市町  
村があることから、消費税額を  
委託料に含めて受託者に支払う  
必要があると、こども家庭庁お  
よび厚生労働省から通知された。

**幸手市立武道館の  
エアコン設置に関する件**  
(請願第1号)

**問** 武道館のエアコン設置につ  
いて、ガスヒートポンプ方式エ  
アコンでの年間ランニングコス  
トが203万3236円と試算  
しているが、リース契約となれ  
ば初期費用はかからないのか。

**答** エアコン導入の初期費用ま  
では算出していないが、現状の  
電気とガスを比較した場合、電  
気よりもガスのランニングコス  
トの方が安いという試算は出  
ている。

建設経済常任委員会

**市道路線の認定について**  
(議案第43号)

**問** 1-29号線は現在、県道で  
ある道路を市道に認定し、1  
-30号線は新たに整備するの  
か。

**答** 1-29号線についてはその  
とおりである。1-30号線につ  
いては、県道惣新田・幸手線バ  
イパスであり、県道または国道  
を結ばないと県道として認定が  
できないので、県道惣新田・幸  
手線バイパスが国道4号バイパ  
スマでつながるまでの間、この  
区間は県道と市道の広域農道を  
結んでいるので、それまでの  
間、市道として認定をするもの  
である。

**問** 県道惣新田・幸手線バイパ  
ス工事予定は決まっているの  
か。

**答** 埼玉県の事業スケジュール  
については公表されていないの  
で、詳細についてはまだ分から

ない。進捗状況は、現地におい  
て詳細設計を行っている。

**問** 県道として出来上がるまで  
の間の管理は市になるのかにつ  
いて。

**答** 幸手市道として認定するの  
で、幸手市で管理することにな  
る。

**「倉松川改修事業に伴う  
橋梁廃止の見直しを求め  
る意見書」を埼玉県に提  
出することを求める件**  
(請願第2号)

**問** 廃止となると生活に影響が  
あると認識しているか。

**答** 近隣に幼稚園もあり、送り  
迎え等に使用され日々の生活に  
使っている道路と認識し、請願  
に至った。

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、13人の議員が6月4日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 小林英雄議員

- 避難訓練について
- 環境問題について
- 道路整備について

### 芦葉弘志議員

- 高次脳機能障がいについて
- 公共施設の利便性向上策について
- 奨学金返還支援制度について

### 坂本達夫議員

- 幸手市庁舎整備アンケートについて
- 大中落流域水路整備工事について
- 幸手消防署庁舎建て替えについて
- 「埼玉人権を考えるつどい」について
- 中川崎、下川崎の道路事情について

### 宮澤大地議員

- 幸手市内の交通渋滞について
- 児童館内放課後児童クラブの老朽化について

### 小河原浩和議員

- 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況について

### 高野優一議員

- ふるさと納税について
- 多面的機能支払制度について
- 防災行政無線の設置状況について

### 本田謡子議員

- 高齢者の粗大ごみ対策について
- 幸手市防災会議やその他防災に関する女性の登用や参加について

### 大平泰二議員

- 学校統廃合について
- 体育館・公民館空調設備について
- 桜まつり会場に隣接する違法な駐車場について
- 高齢者が利用しやすい市内循環バス路線について

### 青木章議員

- 地域おこし事業について
- 幸手市大規模プロジェクト等について
- 移動スーパーについて

### 松田雅代議員

- 市営神扇池釣場の新年度引継ぎ状況について
- 定住・移住対策について
- 会計年度任用職員制度のより効果的な運用について

### 小泉圭司議員

- 学校運営の在り方について
- 公共施設の熱中症対策と避難時の電力確保について
- 公共交通計画について

### 四本奈緒美議員

- 災害に強い地域づくりについて
- 認知症対策「ユマニチュード」の普及について
- 予防できるがん対策について
- 幸手市集会所整備事業補助金について

### 木村治夫議員

- 防災体制の強化について
- 観光振興と市観光事業について
- 幸手駅西口土地区画整理事業について

あなたの **声** を市政に

9月定例会  
のお知らせ

詳しくはホームページを  
ご覧ください。



幸手市は1人45分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりではスペースの都合上、質疑と答弁が要約してありますので臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線の開通は



小林英雄議員

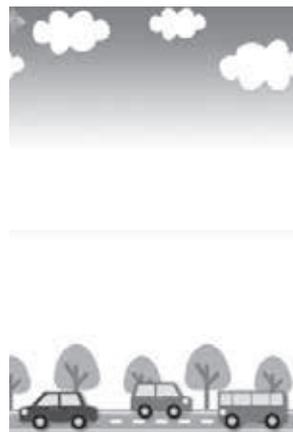
**Q** 市内において渋滞箇所が多くみられ、長年にわたり解消されていない状況にある。その対策の一つとして、行幸地区等市内の西地区に計画されている、都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線の早期整備開通が考えられる。市内西地区に住む方々が、中心市街地を通行することなく駅（西口）を利

用したり、市内を通り抜けることが可能となり、中心市街地の通過交通車両を減らすことが出来、渋滞が緩和されると考えられる。この計画道路の整備について市の見解を伺う。

手駅西口土地区画整理事業地内の移転補償を進めているが、今後、周辺道路の交通の流れや交通量の動向を鑑みながら、当該路線の整備について検討していく。  
（建設経済部長）

て、行幸地区等市内の西地区に計画されている、都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線の早期整備開通が考えられる。市内西地区に住む方々が、中心市街地を通行することなく駅（西口）を利

**A** 都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線を整備することで、市街地への通過交通車両が減り、渋滞が軽減されると考えられる。  
現在、当該路線の整備は、幸



高次脳機能障がい



芦葉弘志議員

**Q** 「高次脳機能障がい」とは事故や病気などで脳に損傷を受けた後に、記憶力や注意力の低下などの症状が現れ、日常生活や社会生活に支障が出る障がいである。今後市としてとりくみ予定の考えを伺う。他市で導入している「おねがいカード」や「ヘルプカード」は本人や家族にとって、い

ざというときに役立つものと思うが、導入に対しての考えを伺う。「つながり安心ネットワーク事業」ですが、本人または家族が希望する場合は対象者になることができるのか伺う。

自治体の事例を研究し、導入に向けて前向きに検討していく。  
つながり安心ネットワーク事業の徘徊探索サービスについては、高次脳機能障がい等の症状により、行方不明になったり、またはその可能性が高かったりする場合に、ご利用いただくことも可能である。

「おねがいカード」や「ヘルプカード」は本人や家族にとって、い

**A** 今後、市としては、高次脳機能障がいについて、十分な理解を深めるための啓発に努め、併せて相談員等のスキルアップを図っていく。「ヘルプカード」等は、他の

（健康福祉部長）

## 中川崎、下川崎の道路事情



坂本達夫議員

**Q** 中川崎、下川崎の市道は狭く、交通量が多い。

特に朝は、長倉小学校、西中学校へ通う子供たち、自転車で見守り方面に向かう高校生が、その狭い道を利用しています。そんな中、多くの車が「エンゼル公園」方面から「さいたま栗橋線」方面や「国道4号」方面へ通り抜けます。ここの道路は、まさ

に危険そのものです。市長は、中川崎、下川崎の道路をどのように認識し、どうすることができるように市民の安全が確保できると考えますか。

**A** 当該地区の道路は、いわゆる生活道路として、

様々な年代の方が利用していますが、車両の交通量が多く、地域外からの車両の「抜け道」として利用され、人と自転車、自動車がお互いに近距離で通行し

ている道路だと認識しています。安全確保のために、一般的には、都市計画道路杉戸幸手栗橋線の整備が有効と考えますが、実施時期は今後検討していきます。また、「ゾーン30」区域として広く運転者に対し意識付けを行うほか、交通ルールとマナーの周知徹底を図ります。（市長・建設経済部長・市民生活部長）

## 幸手市内の交通渋滞について



宮澤大地議員

**Q** 市道1-18号線は慢性的な渋滞を起こしています。

特に国道4号線幸手市役所入口交差点から東五丁目交差点までの区間の渋滞はひどく、国道4号線に向かうドライバーの大変なストレス、不便をかける状況です。

国道4号線へアクセスする専用の右折レーンがなく、右折す

る車両が複数いると後続車が詰まってしまふことが原因だと考えられますが、渋滞緩和への対策や工夫をすることは可能でしょうか。

**A** 渋滞緩和対策として

は、例えば、右折レーンの確保が考えられますが、周辺にかけて全体的に通行車両の多い平日朝夕の出勤・帰宅時間帯では、特定の場所で通行のし易さが増しても、その場所に更な

る通行車両を呼び込むことになり、結果的に渋滞緩和につながらないことが懸念されます。引き続き、実現可能な対策を研究して参りますが、改めて、現地確認を行うとともに、幸手警察署と協議を行って参ります。（副市長・建設経済部長・市民生活部長）



高野優一議員

## 防災行政無線

**Q** 防災行政無線は、県及び市町村が「地域防災計画」に基づき、それぞれの地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的としている。「いつ」、「どこで」起こるか分からない災害や一刻を争う緊急時に重要な情報を市民に伝える責任がある。

**A** 現在の防災行政無線は、適格かつ迅速な情報伝達ができるよう設置したものであるが、「聞こえにくい」などの声が寄せられることもあり、その際は、通報者宅付近で聞こえ具合を確認するなど、現場対応を図っている。

また、設置後に新しく建設された建物や気象状況が、音の伝達状況に影響していることも考えられるため、メールサービスなど、放送内容が聞き取れなかった場合の情報伝達を補完するための対応を図っている。

(市民生活部長)



小河原浩和議員

## 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況を伺う

**Q** A L C C 東京学院と吉田幼稚園跡地利用に関する契約交渉はどこまで進んでいるのか進捗状況を伺う。  
売買契約に付帯する10年間の買戻し特約の内容と10年経過し、買戻し特約の効力がなくなつた以降も、健全な形で運営されるのか不安が残るが、幸手市はどの様に考え、どの様に對

**A** 現在、A L C C 東京学院の事業内容や庁内での事務手続き等の確認を進めている。買戻し特約は、売却後10年以内であれば、市が買戻すことができるものである。10年経過後も適切な運営を担保するためには、連携協定等を締結

処するのかが伺う。

契約が成立した場合、A L C C 東京学院は跡地をどの様に利用すると言っているのか伺う。

現在、A L C C 東京学院の事業内容や庁内での事務手続き等の確認を進めている。買戻し特約は、売却後10年以内であれば、市が買戻すことができるものである。10年経過後も適切な運営を担保するためには、連携協定等を締結

し、地域住民や市との関係を深めることも重要であると考えている。  
跡地は日本語学校の教育・研修施設として利用されるほか、地域住民への開放等についても提案いただいている。

(総合政策部長)

## 幸手市防災会議の女性委員3割目指せるのか



本田 謡子議員

**Q**

令和6年1月に内閣府男女共同参画局より出された「男女共同参画の視点からの防災の取組について」では、地方防災会議の女性委員の割合を3割以上としているが、2025年までに実現するか。例えば市防災備蓄品の中の子ども用・大人用紙おむつ等は、大きさの区分だけである。

**A**

幸手市防災会議の女性委員は、現在36名中2名であり、国の目標である3割とするためには、11人の女性委員の確保が必要になる。また、現委員の任期満了が令和6年6月30日となっており、次期委員の推薦について、7号委員を選出いただいている各機関宛てに、女性委員の積極的な推薦について、御依頼申し上げます。

引き続き、女性の登用や参加を促すための対応を図っていく。  
(市民生活部長)

## 学校統廃合について



大平 泰二議員

**Q**

学校統廃合案は中学校を3校としているが、その根拠について伺います。また、東中を1とした場合、幸手中で6・6倍、西中で10倍の開きがあり生徒数の現状からみて中学校2校でもよかったのではないか。検討案を3校にした根拠について伺います。

**A**

教育審議会では、幸手中学校と東中学校の統合についても、議論がなされましたが、市内の学校配置のバランスや、防災拠点や地域コミュニティとしての役割なども踏まえた結果、基本方針のとおり、東中学校を義務教育学校として、存続させるとの結論に至りました。

市としましても、教育審議会及び教育委員会の意見を尊重し、中学校につきましては、単

なる人数合わせでなく、地域の事情なども勘案し義務教育学校を設置する方針としています。  
(市長・教育部長)



移動スーパー導入



青木 章議員

**Q**

幸手市駅西口地区には、既に民間事業者による「移動スーパー」が巡回しています。しかし、駅東側地区には、導入されていません。幸手駅周辺の住宅街においても、高齢者から「買い物に歩いて行くスーパーが無くて困っている。」との相談がありました。移動スーパーでは、刺身、寿司、

**A**

幸手市内では、イトーヨーカ堂久喜店を母体とする「とくし丸」が市の西側の地域を週2回運行しています。市では日々の生活相談業務

(健康福祉部長)

計画的施設整備で経営環境改善を目指すべし



松田雅代議員

**Q**

市営釣場神扇池は市の貴重な観光資源で、以前は収入から納入金が納められる公設施設の優等生であった。今年度から新たな管理となるが、現場発の能動的な提案が上がるよう監督者として運営改善に努めて欲しい。

**A**

市と指定管理者において、適宜情報交換を行うなど緊密に連携を図り、必要に応じて施設の修繕等を実施していくことにより、良好な維持管理に努める。

(建設経済部長)

コロナ禍以降、来場客数の減少など厳しい状況であるが、前年度よりも来場客数及び収入の減少幅が少しでも小さくなることを目標に、指定管理者と共に、集客を高めるための対策等を講じる。

市営釣場神扇池は貴重な観光資源であり、今後も、サービスの向上、利用の促進を図る。

人口を増やすためにも学校は存続させるべき



小泉圭司議員

**Q** 大規模プロジェクトとして産業団地を拡張して雇用を増やす、戸島地域では今後開発されるかもしれない地域がある、幸手団地においては集約化で戸建ても建てられる用地が出来るなど、移住が見込める環境が様々あるが、人口を増やすためには最寄りの小学校の存在は重要です。

**A** 学校をなくすことと、人口を減らすこととは、全く別問題だと考えています。  
(市長)

市長はこれらのチャンスを活かして人口を増やす為の政策を打つことは検討されないのか。



幸手市集会所整備事業補助金を交付するべき



四本奈緒美議員

**Q** 幸手市集会所整備事業補助金は、自治会自ら費用を出し、自治会館の修繕等を行う際に交付されるものである。

自治会館は地域コミュニティの拠点である。補正予算を組んで補助金を交付し、3自治会館の修繕を今年度中に実施するべきと考えるが、市長の见解を伺う。

過去10年間、申請された25件は全て補助金が交付されている。今年度は3自治会より申請が出されたが、1件のみの交付決定となった理由を伺う。

**A** 幸手市集会所整備事業補助金は、予算の範囲内で交付するものであり、令和6年度の予算の範囲内で交付できる団体は1団体であった。  
集会所や自治会館等は、地域

の一体感の醸成や共通課題解決のための拠点であり、地域住民にとっても行政にとっても重要な役割のある場所である。  
今後、限られた予算の中で、各施策事業に係る全体予算との調整を踏まえながら、当該補助事業の予算確保に努める。  
(市長・総合政策部長・市民生活部長)

# 傍聴に行こう！

次回の定例会は  
**9月2日(月)**  
より開催予定



## ◆議会傍聴のご案内◆

本会議、常任委員会、議会運営委員会は原則公開しており、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しいただき、傍聴申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってください。事前予約は不要です。

傍聴は、市議会の活動にふれることができる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

### 【注意事項】

- ・傍聴席では飲食禁止です。
- ・携帯電話の電源は必ずお切りください。
- ・写真撮影、録音はしないでください。

## ◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



## 幸手市災害時協力井戸登録制度の確立を



木村治夫議員

**Q**

大規模地震災害時、市内水道施設の損傷により、長期間断水が想定される。飲料水以外の生活用水については確保出来ない。1人当たり1日186ℓ以上の水が必要である。市として、災害用井戸に対する認識と設置の取り組み、断水により飲料水・生活用水の対応・対策は喫緊課題である。国

**A**

災害時において、井戸水が生活用水として活用された事例などから、災害用井戸の有用性について認識しているところである。まずは、災害用井戸の設置

の交付金等調査し、水質検査実施、案内板設置、自主防災会、個人、企業に登録を周知し新たな助成制度を確立すべき。災害用井戸は、水確保手段の最も有効方法、市長の見解は。

関する制度を確立するため、県内自治体の「災害時協力井戸の取り組み」についてその内容を参考とし、取り組み方法等について調査・研究を行う。さらに、井戸の所在の把握に努め、災害用井戸としての利用に協力いただけるよう取り組んでいく。

(市長)

# 令和6年6月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 市民の幸せをつくる会…幸 自由民主党…自 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)  
(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 高野 優 (無)	2 小泉 吉司 (幸)	3 富澤 大地 (無)	4 芦葉 弘志 (公)	5 四本 泰緒 (公)	6 坂本 達夫 (幸)	7 小林 英雄 (無)	8 枝久 喜八郎 (無)	9 木村 治夫 (自)	10 松田 雅代 (無)	11 小河 清和 (緑)	12 本田 諤子 (無)	13 藤沼 真 (自)	14 青木 章 (緑)	15 大平 泰二 (共)		
議案第34号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	×	○	—	×	×	×	×	欠	×	○	総務	賛成少数否決	
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員承認	
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号)幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員承認	
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号)幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員承認	
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号)令和6年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員承認	
議案第40号	幸手市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	総務	賛成全員可決	
議案第41号	幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	総務	賛成全員可決	
議案第42号	幸手市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第43号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第44号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第45号	令和6年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	総務 文教厚生	賛成全員可決	
議案第46号	令和6年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第47号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第48号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第49号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第50号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第51号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第52号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第53号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第54号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第55号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第56号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第57号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第58号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第59号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第60号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第61号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	—	賛成全員同意	
議案第62号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	×	—	○	退	○	○	欠	○	×	—	賛成多数同意	

(議員提出議案)

請願第1号	幸手市立武道館のエアコン設置に関する件	×	○	×	×	×	○	—	×	×	×	×	欠	×	○	文教厚生	賛成少数不採択
請願第2号	「倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書」を埼玉県に提出することを求める件	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	欠	○	×	建設経済	賛成多数採択
意見書案第1号	倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書案の提出について	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	欠	○	×	—	賛成多数可決

お詫びと訂正 市議会だより さって5月号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

- 3ページ 3段目 (誤)市街化区域を5地区にわけて発展 (正)市街化調整区域を5地区にわけて発展
- 7ページ 1段目 (誤)幸手市手数料条例の一部を改正する条例(議案第15号) (正)幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例(議案第17号)

議会広報編集委員	委員長	枝久保 喜八郎
	副委員長	本田 諤子
	委員	高野 優一
	委員	小泉 圭司
	委員	宮澤 大地
	委員	芦葉 弘志
	委員	木村 治夫
	委員	松田 雅代
	委員	小河原 浩和
	委員	大平 泰二

## 編集後記

市議会は平成27年4月1日から幸手市議会基本条例を施行している。

直接選挙で選ばれる二元代表制のもと、執行機関の市長と議事機関の議会のそれぞれが、相互に抑制と均衡を保ちながら、適切な行政運営を図るとされています。条例には、「議会と議員の役割を明確にし、市民の負託に的確に答える」議会のあり方について、常に追求し、市民に開かれた議会、市民とともに歩む議会、市民のための市政を目指していかなければなりません。

猛暑が続く中、市民の皆さまにはお体ご自愛下さいませよう、お祈り申し上げます。